

平成29年度阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会
阿寒地域部会・摩周地域部会（第2回）（合同開催）
議事概要

- 1 日時：平成29年12月22日（金）13:30～15:00
- 2 場所：阿寒湖まりむ館 多目的ホール
- 3 出席者：出席者名簿のとおり
- 4 議事

■開会

○北海道環境生活部環境局生物多様性保全課自然公園担当課長

本日は大変ご多忙のところ、阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会阿寒地域・摩周地域合同部会にご参集いただき感謝。

本部会は、環境省と北海道が持ち回りで開催準備をしており、今回は北海道が準備したことから、僭越であるが挨拶させていただく。

阿寒摩周国立公園は、昨年7月に満喫プロジェクトの実施地区に選定され、本年、8月には地域の皆様の悲願であった公園の名称が変更され、また、区域も拡張し、国内外の関心も大いに高まってきていると感じているところ。

現在ステップアッププログラムに基づいて、関係機関や団体、地元の皆様と役割分担をしながら様々な取り組みを推進しているところであるが、施設整備やプロモーション、エコツアーの検討など、一部では成果も目に見える形になってきていると思うところ。

このような協議会の場で取組状況を確認しながら、更なる可能性について検討していくことが重要。満喫プロジェクトは、特にインバウンドの方々に国立公園を満喫していただくための取り組みを推進しているが、見方を変えると、ここにお集まりの皆様が外国の国立公園を訪れた場合は、そこでは皆様自身はその国のインバウンドになるので、自分自身が阿寒摩周国立公園を満喫できることが逆の意味でいうと重要。恐らく自分が楽しいことは訪れる方々もやってみたいと思うので、幅広い視点で考えることが大切。

阿寒摩周国立公園は、火山と森、多様な湖沼群が見事な景観を織りなすとともに、アイヌ文化が融合した地域であり、工夫次第で色々な楽しみ方ができる大きな可能性を秘めていると思う。このような自然の恵みと文化、これらをしっかりと保護し、維持をしてその魅力を世界に発信していくことが重要なことであり、道としても積極的に取り組んでいく考え。

プロジェクトを推進し、私たちの貴重な財産である阿寒摩周国立公園を世界水準のナショナルパークとすることは、国内外の誘客促進はもとより、阿寒摩周国立公園を核とした地域の活性化にも繋がるものと考えているところ。

地域一丸となり取り組むことが重要であるので、改めて関係機関・団体の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げて、開会の挨拶とさせていただきます。

■議題

(1) 阿寒国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置要綱の改正案について

○北海道から資料1に基づき説明

※説明に対し質疑等なし

(2) 阿寒国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2020の進捗状況及び改定に係るご意見等について

○関係機関・団体から資料2に基づき説明

・環境省

(別添資料の説明 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト・利用推進調査検討業務及び国立公園満喫プロジェクト外国人ツアーコンテンツづくり支援業務)

・国土交通省北海道開発局

(別添資料の説明 北海道サイクルツーリズム推進に向けた取り組み)

・国土交通省北海道運輸局

・経済産業省北海道経済産業局

・足寄町

・北海道十勝総合振興局

・北海道釧路総合振興局

・北海道オホーツク総合振興局

・釧路市阿寒観光振興課

・釧路市都市計画課

・阿寒観光協会まちづくり推進機構

・前田一步園財団

・弟子屈町

・北海道釧路総合振興局(産業振興部)

※説明に対し質疑等なし

○以下の構成員から進捗の説明・意見等

・林野庁北海道森林管理局根釧西部森林管理署

歩くスキーなどの国有林内のイベントなど入林申請が多くなってきており、色々な取り組みが広がってきている。裏摩周は、法令規制で難しい部分もあるが、出来るだけ知恵を絞って出来ることをやっていきたいと思っている。

国有林内での行為は、構想段階でも構わないので、早めに相談いただきたい。

現在、通行止めとなっている津別峠については2工区に分けて実施している。上部工区の工事は終了し、残りを年度内の復旧に向けて努力したい。

- ・北海道根室振興局

中標津から知床国立公園への誘導も重要なので、可能であれば標識等の設置をお願いしたい。

- ・環境省

今年度に釧路空港に看板を設置しており、これを踏まえて、女満別や中標津の設置を考えて行きたい。

- ・なかしべつ観光協会

ロングトレイルの取り組みを実施中。スノシューを使った冬のコンテンツとして活用したい。将来に向けては摩周湖の外輪をまわるツアーも今後考えて行きたい。

- ・津別町

屈斜路カルデラ外輪山広域ルートの関係で、3町協議会で調査研究の予算を確保。新年度から調査研究を進める予定。

- ・大空町

津別町と同内容

- ・きよさと観光協会

裏摩周展望台が老朽化しており、再整備について、北海道及び環境省にお願いしているところ。また、展望の支障となる木が多く苦情も多いため、林野庁にも対応をお願いしたい。観光計画推進会において、裏摩周から神の子池に至る整備について、町と観光協会では前向きに動いている。委員会には網走南部森林管理署や環境省にも入ってもらい、自然を活かした整備について検討中。神の子池については、早急にトイレの整備、駐車場については位置も含めて検討中。

- ・阿寒アイヌ工芸協同組合

アイヌコタンとイコロがあり、イコロは営業成績がよい。イオル構想も進展中で、来年あたりである程度の方向性が見えてくると思う。

- ・北海道観光振興機構

各観光協会や各自治体とも連携を強化したい。

- ・自然公園財団川湯支部

硫黄山駐車場について、来年度に発券所の壁や屋根の塗装を実施予定。摩周湖駐車場については、再来年度に対応予定。川湯エコミュージアムセンターにおいて、トレッキングや観察会用に雨具を購入しレンタル事業を開始予定。

・阿寒摩周国立公園川湯地域運営協議会

環境省、弟子屈町、地元観光協会と定期的に協議を行い、できるところから取組を進めている。ただし、理想と現実との間で、何ができてできないか分からない状況。

・摩周湖観光協会

ONSENガストロノミーを10月22日に開催。申込者は190名であったが、当日は天候の関係もあり170名の参加となったが、第一回目としては盛況に行われた。引き続き、旅行会社や航空会社の協力を得ながらインバウンドの確保について取組を進めていく。

また、旧川湯スキー場跡地において、インスタ映えするアクティビティーや雪遊びなどを計画中。

※説明に対し質疑等なし

○北海道から資料3-1、3-2に基づき説明

※説明に対し質疑等なし

(3) その他

・弟子屈町

裏摩周展望台は樹木により眺望が悪い。摩周湖第一展望台や美幌駐車帯の眺望も悪い。何とか対策して頂ければ有り難い。

■閉会

○環境省阿寒摩周国立公園管理事務所長

皆様大変お疲れ様。

ステップアッププログラムの策定からちょうど1年となり、この間、取り組みが進められてきたことに感謝。

今月のはじめに東京で国立公園満喫プロジェクトシンポジウムがあり出席させていただいた。内容は有識者の講演、パネルディスカッション、各国立公園の取り組みの報告で、多くの方に来場いただき、国立公園満喫プロジェクトに対する世間の関心は非常に高いと感じたところ。

阿寒摩周国立公園においても、注目・期待に応えられるよう、阿寒地域・摩周地域が一体となって取り組んでいかななくてはと感じたところ。

また、年明けには地域協議会を開催するが、引き続き、より一層の取り組みの加速化をお願いしたいと考えているところ。

本日は感謝。